

沿道から熱いエールを送ろう

第26回

旭市飯岡しおさいマラソン大会

～勇気・元気・復興への道～

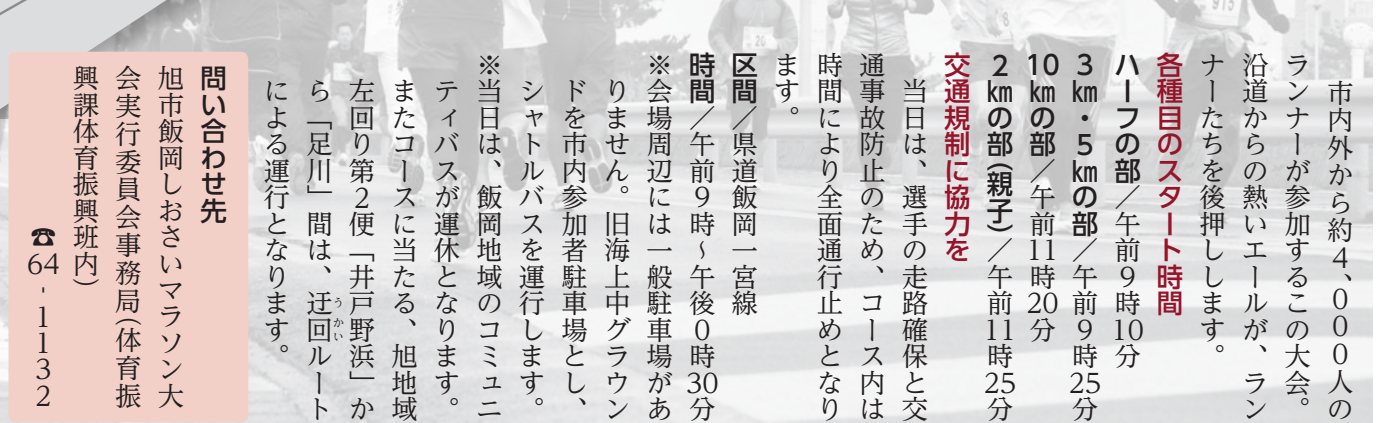
2月1日(日)

※雨天決行

スタート・ゴール
いいおかユートピアセンター

マラソンコース

スタート・ゴール
いいおかユートピアセンター



問い合わせ先
旭市飯岡しおさいマラソン大会
実行委員会事務局(体育振
興課体育振興班内)
☎ 64・1132

市内外から約4,000人のランナーが参加するこの大会。沿道からの熱いエールが、ランナーたちを後押しします。

各種目のスタート時間

ハーフの部／午前9時10分
3km・5kmの部／午前9時25分
10kmの部／午前11時20分
2kmの部(親子)／午前11時25分

交通規制に協力を

当日は、選手の走路確保と交通事故防止のため、コース内は時間により全面通行止めとなります。

区間／県道飯岡一宮線
時間／午前9時～午後0時30分

※会場周辺には一般駐車場がありません。旧海上中グラウンドを市内参加者駐車場とし、シャトルバスを運行します。

※当日は、飯岡地域のコミュニティバスが運休となります。またコースに当たる、旭地域左回り第2便「井戸野浜」から「足川」間は、迂回ルートによる運行となります。



みんなで考える 未来の公共施設

第6回

スポーツ施設運営に掛かる費用と利用状況①

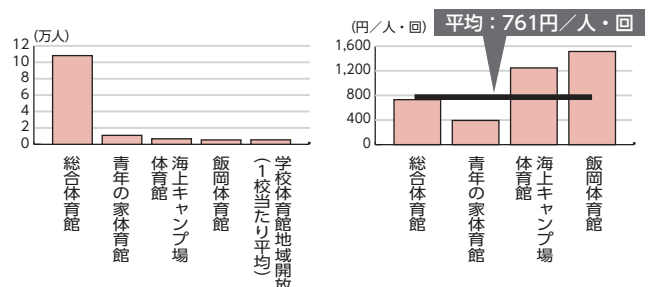
市内には、心身の健全な発達や健康維持などのため、体育館、野球場、庭球場などさまざまなスポーツに対応した施設が設置されています。今回は体育館の現状を紹介します。

市民が自由に利用することのできる専用体育館は、市内に4つ設置されていますが、これらのほかに全ての小中学校の体育館が、学校時間外に地域のスポーツ団体などに解放されています。学校体育館を含めれば、屋内スポーツに利用できる体育館が24か所存在していることになります。専用体育館の年間利用者数を比較すると、最も多いのは総合体育館の108千人、最も少ないのは飯岡体育館の5.4千人と、20倍以上の開きがあります。また学校体育館の地域開放での1校当たり平均利用者数は、5.5千人となっています(表1)。4つの専用体育館

の維持管理や運営に掛かる費用を基に、施設利用1回当たりの市の負担額を算出すると、施設を1回利用するたびに、税金が利用者1人当たり約760円投入される計算になります(表2)。また施設によって市税投入額が異なっていることも確認できます。

今後、維持管理費などのさらなる効率化を進めるほか、利用者負担と税負担の割合、今までどおり保有し続けるのかなど、施設の在り方を検討していきます。

(表1)施設年間利用者数 (表2)利用1回当たり市税投入額



※表1・2とも、平成19～24年度の平均(平成23年度を除く)。

図行政改革推進課行政改革推進班(☎62-5345)